

千葉ダルク

参加費
無料

設立 15 周年記念フォーラム

— これまで、そしてこれから —

日時

2018年 10月 20日(土)
12:30-17:00

会場 蘇我コミュニティセンター
多目的ホール

主催 一般社団法人千葉ダルク

共催 千葉県精神保健福祉センター
千葉市こころの健康センター

後援 千葉保護観察所・千葉菜の花家族会

お問合せ・お申込み

一般社団法人千葉ダルク

☎ 043-209-5564

第一部

講演：西村直之先生

医療法人卯の会
新垣病院精神科医

第二部

講演：近藤恒夫氏

日本ダルク代表
NPO 法人アバリ理事長

iPhoneから送信

千葉ダルク設立 15 周年記念フォーラム—これまで、そしてこれから—

プログラム詳細

受付開始	12:00～	
開会挨拶	12:30～	
スライドショー	12:35～12:50	
来賓挨拶	12:50～13:30	
	千葉市こころの健康センター主任主事	蔵田 亜希子 様
	千葉県精神保健福祉センター調査研究課	
	上席精神保健福祉相談員	石田 恵美 様
	法務省千葉保護観察所 統括保護観察官	富田 潤一 様
第一部 講演	13:30～14:20	
	医療法人卯の会 新垣病院 精神科医	西村 直之 先生
仲間の体験談	14:20～15:10	
< 休憩	15:10～15:25	>
第二部 講演	15:25～15:55	
	日本ダルク代表・NPO 法人アパリ理事長	近藤 恒夫 氏
琉球太鼓エイサー	16:00～16:30	
千葉ダルク	応援：藤岡ダルクの仲間・館山ダルクの仲間	
代表挨拶	16:30～16:45	
	一般社団法人千葉ダルク 代表理事	白川 雄一郎
閉会挨拶	16:45～17:00	
	千葉ダルク 職員	



<講師紹介>

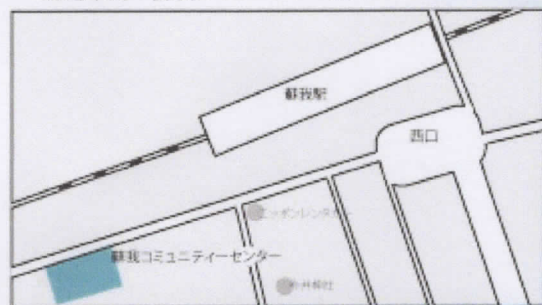
精神科医 西村直之先生

琉球大学医学部卒。琉球大学医学部大学院修了（医学博士）。1994年（平成6年）頃より依存問題の治療に取り組み、国立肥前療養所（現：肥前精神医療センター。アルコール・薬物依存病棟）では、国立初の開放型の薬物依存入院治療プログラム（DRP）を実施。また、当時精神保健福祉センターには無かった認知修正とセルフケアに焦点を当てた薬物依存の家族教室プログラムを開発・実施した。その後、卯の会「あらかきクリニック」院長などを経て、現在は卯の会「新垣病院」勤務。薬物依存回復支援施設「DARC」の活動を支援し、複数のDARCの設立を援助した。また、精神科診療と並行し、2006年に日本初のばちこ依存問題に特化した非営利の電話相談機関「リカバリーサポート・ネットワーク」を設立し、代表理事を務めている。

日本ダルク代表 近藤恒夫氏

1941年秋田生まれ。30歳の時に覚せい剤を覚えて以来、薬物乱用者となり、37歳で精神病院に入院。39歳のとき逮捕。半年の留置所生活を経て執行猶予付き判決で出所。釈放後は回復を誓い、アルコール依存症者の回復施設の職員を経て、1985年日本初の民間による薬物依存者回復施設「ダルク」（現東京ダルク）を開設。以降薬物依存者の回復支援に尽力。2000年には研究機関「NPO 法人アパリ」を設立。国家行政機関、法律家、医療者、研究者などと連携し、国内外の薬物問題に取り組んでいる他、学校や刑務所などでの講演も精力的に行っている。1995年、東京弁護士会人権賞を受賞、2001年吉川英治文化賞を受賞。

<会場案内・蘇我コミュニティセンター>



千葉県千葉市中央区今井1丁目14-43

電車でお越しの方：

JR 内房線・外房線、京葉線「蘇我」駅西口より徒歩5分
改札を出て右へ、階段を下り、まっすぐ線路沿いにお進みください。

お車でお越しの方：

京葉道路蘇我料金所よりおよそ10分（約4km）
駐車場 70台（別途身障者駐車スペース4台）
駐車場は時間帯により大変混み合います。会場周辺に多数コインパーキングがございますので、満車の際はご利用ください。

iPhoneから送信